

JaSIA・日本資産評価士協会・一般公開セミナー

(後援：京都大学・経営管理大学院)

SEC Fair Value Quality Initiative (FVQI)

米証券取引委員会 (SEC) による財務報告における
フェアバリュー (公正価値) 及び評価人に対する規制強化の動きについて

平成 28 年 9 月

一般社団法人・日本資産評価士協会

JaSIA (日本資産評価士) では京都大学経営管理大学院の後援の下、ASA (米国資産評価士協会) の事業評価教育の責任者である Raymond Rath 氏を講師に、京都大学教授 (会計学) の徳賀芳弘先生をコメンテーターとして迎え、現在米国証券取引委員会 (SEC) が進める上場企業の財務報告に係るフェアバリュー (公正価値・評価額) のあり方に関する規制・監督強化に向けた最近の動向を紹介する特別セミナーを開催します。資産評価及び評価業務に携わる幅広い方々に、是非この機会をご活用いただければと考えます。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

セミナー概要

米国 SEC (証券取引委員会) は、2001 年のエンロンを代表とする不正会計問題の発覚を契機に登録企業の財務報告におけるフェアバリューの開示における諸問題にかねてより懸念を表明し、AF (米国鑑定財団)、ASA (米国鑑定士協会)、AICPA (米国公認会計士評価協会) 等の主要な評価業務関連団体に対して改善策を諮問しておりました。諮問を受けた関係団体は度重なる議論の末、答申のドラフトを作成し、現在パブリックオピニオンに供されております。今回の答申の内容は、単に評価人の倫理といった問題に留まらず、評価基準のありかた、評価の質及び厳格性、評価人の能力の確保、資格制度、適用されるべきテクニック等かなり幅広い内容となっております。わが国でもオリンパスの不正会計事件は同社が買収した企業の評価額の不当な操作に起因するものと言われておりますが、今回の米国の規制当局の規制強化は今後の日本の評価及び評価人のあり方にも影響を与えるものと思われま

す。今回、講師に迎える Rath 氏は、ASA の答申作成の責任者及び作成を担当し、これまで SEC を含めた関係諸団体と議論を重ね規制当局が問題視するポイントおよび考え方にも深い理解を持っており、本セミナーではその内容と将来の見通しについて皆様に分かり易く解説します。

(1) 日時：平成 28 年 11 月 1 日 (火) 13:00~17:00

(2) 於：京都大学産学連携本部 東京日本橋サテライトオフィス
日本橋ライフサイエンスビル 9F
<https://www.nihonbashi-lifescience.jp/#>

(3) 参加料：一般受講者 13,000 円 (税込み)
JaSIA 会員 8,500 円 (税込み)
京都大学学生 無料
(なお、JaSIA 関連団体からのご紹介の受講者様の参加料についてはご紹介団体にお問い合わせください。)

(4) お申し込み：以下のからおねがいします。

<https://goo.gl/forms/MMSGjBatUhUqgyN72>

(5) 講義内容：(詳細は <http://wp.me/p5tZgm-kl>)

- ・ FVQI 導入までの経緯と今後タイムスケジュール
- ・ FVQI における主要検討事項
 - ① ガバナンスと調和 (Governance & Coordination)
 - ② 業務基準 (Performance Standards)
 - ③ 資格・技量 (Qualification)
 - ④ 品質管理 (Quality Control)
- ・ MPF (Mandatory Performance Framework) : FVQI 実施に向けた具体的な遵守事項
 - ① 用語の定義 ② 契約 ③ MPF 遵守基準 ④ 関連遵守基準 (評価、会計、監査) ④ 報告書
 - ⑤ 評価手法・テクニック技術事項 等

講師紹介：

Raymond Rath CFA ASA



知財評価の専門家であり、米国では屈指の存在。ASA(米国鑑定士協会)の事業評価及び知財評価プログラムの責任者。資産評価教育の分野では世界的に活躍。最近では米国SEC(証券等取引委員会)主導による公正価値評価(フェアバリュエーション)に係る資格制度についてASAを代表してプログラムの作成等を担当。現在、Globalview社(アーヴィン、ボストン、ロサンゼルスおよびロンドンにオフィスを持つ独立系評価会社)のマネージングディレクター。それ以前は、Pricewaterhouse Coopers LLP、KPMG、Arthur Andersen等の主要監査法人で、事業・無形資産評価の責任者を担当。また、米国CFA協会の受験テキストであるエクイティ資産評価のプライベートカンパニー・バリュエーション」のセクションの著者である。本章は米国CFAレベル2受講者の必読書の一部である。カンサス大学(経営学)優等、南カリフォルニア大学MBA

コメンテーター：

徳賀芳弘 京都大学経営管理大学院教授／京都大学副学長 学士・修士(経済学・九大)。博士(経済学・京大)。ワシントン大学客員研究員、九州大学経済学研究院教授、京都大学経済学研究科教授(現在も併任)を経て現職。現在、金融庁企業会計審議会委員、公認会計士・監査審査会委員、企業会計基準委員会(ASBJ)委員、日本学術会議会員、Vice President(IAAER)など。過去にPresident(AAAA)、公認会計士試験委員、税理士試験委員、日本会計研究学会理事、国際会計研究学会理事等を歴任。主な図書に『企業会計の基礎概念』[共編著]中央経済社(2011年)、『財務会計研究の回顧と展望』[共編著]中央経済社(2013年)など。

ファシリテーション(兼通訳)：若山和夫 一般社団法人・日本資産評価士協会 専務理事兼会長代行。京都大学経営管理大学院講師(ファイナンス、リスクマネジメント)。米国ペンシルバニア大学ウォートンスクールMBA。